

「北九州市自殺対策計画の見直し（素案）」に対する 市民意見提出手続の実施結果について

「北九州市自殺対策計画の見直し（素案）」に対する市民意見提出手続の実施結果は、以下のとおりです。

1 意見募集期間

平成31年3月18日（月）から平成31年4月17日（水）まで

2 市民意見提出手続きの意見

(1) 提出者	1人
(2) 提出意見数	3件
(3) 提出方法	
ア 電子メール	0件
イ 郵送	0件
ウ ファクシミリ	0件
エ 持参	3件

3 提出された意見の概要と市の考え方（案）

(1) 意見の内容

計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3件

(2) 意見の反映結果

追加・修正なし 3件

詳細については、別添「北九州市自殺対策計画の見直し（素案）」に対する意見と市の考え方（案）」をご参照ください。

北九州市自殺対策計画の見直し（素案）に対する意見と市の考え方（案）

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や意見を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方（案）	内容	反映結果
1	<p>計画を推進する為には、市職員が高い倫理観、全体の奉仕者としての自覚を持ち、市民から信頼され、住み続けたいと評価されるよう努めなければならない。また、地方自治体として条例等を定め、市民に守ってもらう事で公平・公正な社会を創らなければならない。私が居住する市営団地では、動物の飼育、共益費の滞納がある。市住宅供給公社への通報等をしているが改善されず、精神的苦痛や不信感を感じている。計画を実行していくには、市長が先頭を立て市民から信頼される市政を創る事に本腰を入れて取り組む事が必要だと私は思う。連絡会議等を通して、市長に対して意見などを伝えられるようにしてほしい。</p>	<p>本市では、市長の指示のもと、計画の策定や見直し等、総合的な自殺対策に取り組んでいます。</p> <p>その推進体制としては、関係機関・団体で構成する「北九州市自殺対策連絡会議」において、効果的な自殺対策に関する事項について、協議・検討を行っており、庁内では、自殺対策関係部署で構成する「自殺対策庁内連絡会議」において緊密な連携を図り、本計画に基づいた施策を実施しています。</p> <p>今後も、市民のみなさんの信頼を得られるよう、関係機関・団体等との相互の連携・協働の仕組みにより、自殺対策を推進して参ります。</p>	2	③
2	<p>昨年来より、80代の親がひきこもる50代の子を支える「8050問題」等、ひきこもりが社会問題として取りが取り挙げられている。自殺と同様、信頼できる相談相手につながらない「孤独」さ、並びに、生活困窮者を「自己責任」としてバッシングする風潮が強まっている社会への生きづらさが原因だと思う。御センターが主体となって、ひきこもり対象者に対する偏見の払拭するため、市民から信頼度が高まる計画を策定してほしい。</p>	<p>「8050問題」をはじめとしたひきこもりの方等が抱える様々な社会の生きづらさを軽減するための取り組みは、自殺予防の観点から重要と考えています。本市では、ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」での情報提供や、市民の正しい理解を目的とした講演会、支援者向けの研修・連絡会等を実施しています。</p> <p>今後も、引き続き、市民の啓発に努めて参ります。</p>	2	③
3	<p>本市は、ひきこもり関連事業をNPO法人に委託しているが、休眠NPO法人に関する新聞報道を受けて、法人に対する信頼性、職員の質が担保されているのか不安感が増幅している方が多いと推察している。NPOに対する信頼性を向上させるよう担当部局の調査権限を付与する事など、市民から信頼度が高まる計画を策定してほしい。</p>	<p>ひきこもりの方等への支援については、個別相談や、当事者やその家族などが集まって交流する場の提供、イベントや講座、クラブ活動の実施などの活動を行っています。</p> <p>また、委託内容については、毎年度契約に合わせて事業実績を精査しており、適切に事業が運営されているものと考えています。</p>	2	③